

【姫路】虹技は太陽光を熱に変えるソーラーボイラを利用してアフリカ南東部マラウイの支援プロジェクトに、人材教育の一環で社員1人を派遣した。社員は現地に2週間程度滞在。ソーラーボイラを組み立てて設置し、使用方法などを伝えた。人材教育として引き続き実施するかなどは今後検討する。



マラウイのプロジェクトで使用したソーラーボイラ。同ボイラ左の作業着の人が虹技の社員

## ソーラーボイラ マラウイに設置

### 虹技、社員研修に「熱」

#### NPO法人協力、「世界見て」

プロジェクトはNPO法人Colorbath（大阪市淀川区）と、ソーラーボイラを開発したエンジニアの福寿喜寿郎氏が進める。場所の提供などで虹技が福寿氏を支援していたことが、社員を同プロジェクトに同行させるきっかけとなった。

虹技の社員やColorbathのメンバーらがソーラーボイラを1人1台ずつ持ち、5月に計5台をマラウイに運んだ。虹技の山本幹雄社長は「初めての世界を見えてほしい」と語る。マラウイに運んだものは組み立てに時間がかかる。

ソーラーボイラは太陽光を一点に集め熱に変える装置。太陽光を集める部分がカーブ状になっており、太陽の方向に傾けて使用する。最高160度Cまで温度を上げられ、まきなどで湯を沸かせ、煮炊きや医療器具などの滅菌・消毒に使えると期待されている。